

僕は小さい頃から運動が大好きで、車いすテニスに打ち込んできました。具志川商業高校に進学してからは野球部のマネージャーとして、分析などを担当しました。ベンチ入りメンバーとして甲子園に出場できたことは本当にいい思い出です。県外への大学進学を機に野球とは離れましたが、帰沖を機に何かスポーツをしたいと、車いすラグビーを始めました。以来「沖縄ハリケーンズ」というチームに所属して本格的に打ち込んでいます。

一方で、スポーツだけでなく社会人

経験も積んで視野を広げたいと思い、ラグビーを続けられる週3日勤務を探して、今の仕事に出会いました。デスクワークが中心で福祉に関わることも多く、仕事を通じて「自分って今までこんなに支えられてたんだ」と改めて気づかされます。遠征試合と重なると体力的に大変なときもありますが、ラグビーという激しい競技でメンタルが鍛えられたおかげか、また職場の方々の応援もあり、何とか乗り越えています。

今では周りに支えられながらラグ

ビーと仕事を続けられています。中学の頃の僕は「なんで歩けないんだろう」と障害に悩み、将来に悲観的でした。でも、障害はどうしようもないものだから「うまく付き合っていくしかない」と、少しずつ受け入れられるようになりました。時間が解決してくれたんです。だから、将来に悩んでいる子たちには、焦らなくていいよ、と伝えたい。スポーツも勉強も、焦るとかえって崩れてしまうから、ゆっくり、自分のペースで。時間はきっと味方になってくれるはずです。

焦らなくていい。
時間は味方になってくれる

これが好き！

ラグビー

×

事務職

やましう らい
山城 来さん

愛知県で開催されたアジアパラ競技大会の車いすラグビー日本代表であり、沖縄市役所 ちゅういしいじい課で働く山城来さん、その二刀流の日々と、子どもたちへの思いを紹介します。

私の宝物



野球少年だった頃に、元阪神の外国人選手、ランディ・メッセンジャーからもらったグローブ

